潜私 在の 宣ト 職レ 21 いー ラン 無グ 自で 覚働 なき 領か 域け でて すい 0 4 0) は

昔こ

段の

ほ覧

と職

んで

どあ

活る

用領

さ城

れは

7

w

ま

난

云気 づ 6 te 5 変 わ 2 7 12 た

体自トこ 得らレの さの1言 ↑無一 た意グ は でのを も存通 あ在し りにて まつ すい ° 7

潜自け在誰 在られりも 能のどたが 力可`い` を能ま自潜 発性だ分在 揮をその意 で信の人識 きじ真生の ずら実へ扱 にれをとい いず知変方 るにらえを 方 `ずてマ は にいス 3 いくタ < るこ ことし W とは ま でで * * ま 3

- 日心直こ マ常のにれ イの知働ま ン中点きで ドでをか言 空体引け葉 間得きてを し上き通 てげたし 削いる 7 b り出たで心 してなの業 る業 U きま す

気心自な心例 づを然んのえ け和とだ壁ば ばや朱かをそ `か来や取こ 潜ににるりに 在調意気払い 意え識がっる 識てが湧てだ にく向きくけ 働れい起れで きるてこる か隠いっ空 けれくて間 て家場し く "所ま 九 " 5 3 部 空 屋 H

何離そ 気もん ながな いき心 日っの 常と居 に自場 見ら所 出のを し人持 て生つ いのこ け可と る能が で性で しをき `た t 5 ٤ t た 5

そこ 00 時先 何何 をが 感起 じき 53 れの るか ので かは 。な <

こ私世 のた界 時ちが 代人ど を問う どに変 うと化 生っす きてる る重の の要か かなよ 00 b はも . .

4

心ひっ地 のとい球 改革なが、視点か よりみからみ のり での 必 た は 要 私 な な た U 0) 5 7 は 類 t 3 K ٤ か 0 7

マ離人百マ イも間年イ ンが本先ン ド引来のド 空きが未デ 間出持来ザ をしつにイ プて潜向ン ロい在けラ デく的てボ ュこな 14 1とカ スのを して、 てき いるき #



4

